

バーチャルで魚の世界

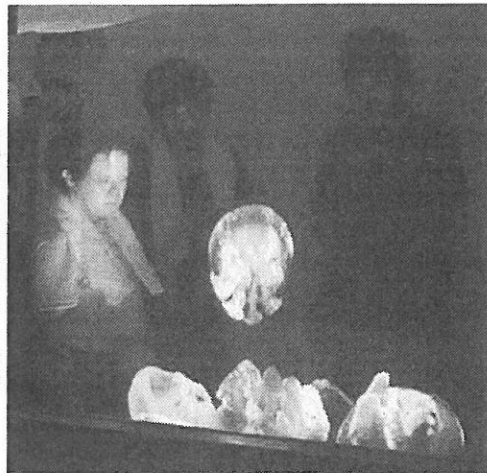
障害者のための水族館 奈良医療センター

奈良

国立病院機構奈良医療センター(星田徹院長)は9日、ファンタスタプロジ

エクシヨンを使った体験型バーチャル水族園「ゆめ水族園」を、奈良市七条2丁目の同センターで行った。

新感覚の空間のセッテ



クラゲの映像に見入るセンター利用者
9日、奈良市七条2の奈良医療センター

インクはセイコーエプソンゆめ水族園事務局豊料事業所が担当。同センターの療育訓練室内に薄いカーテンを垂らして魚や海の生き物が動き回り、漂う映像を投影し、場面に合った音楽を流した。室内では、水族館に行けない障害のある患者らが観賞。初めて体験する映像と音楽が融合した幻想的な世界を楽しんだ。同センターの吉田正事務部長は「水族館に行きたくても行けない障害者のために、こうした手法があることを知ってもらうきっかけになれば」と話した。